

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成27年12月3日(2015.12.3)

【公開番号】特開2013-104062(P2013-104062A)

【公開日】平成25年5月30日(2013.5.30)

【年通号数】公開・登録公報2013-027

【出願番号】特願2012-233123(P2012-233123)

【国際特許分類】

C 0 9 K 3/00 (2006.01)

C 0 7 D 235/26 (2006.01)

B 0 1 J 13/00 (2006.01)

【F I】

C 0 9 K 3/00 1 0 3 M

C 0 7 D 235/26 B

B 0 1 J 13/00 F

【手続補正書】

【提出日】平成27年10月19日(2015.10.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

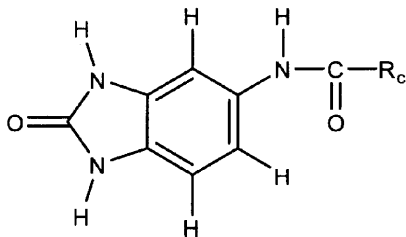
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a) 以下の式を有するアルキル化ベンゾイミダゾロン化合物

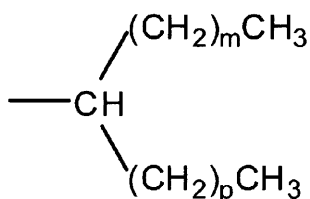
【化1】



(式中、R<sub>c</sub>は、

(i) 以下の式を有する分岐した非置換アルキル基

【化2】



(式中、mは7から11の整数からなる群から選択される整数であり、pは5から9の整数からなる群から選択される整数である)と、

(b) エチレングリコール、メタノール、エタノール、2-プロパノール、アニリン、安息香酸ベンジル、パラフィン油、2,2,4-トリメチルペンタン、1,2-ジメトキシエタン、キャノラ油、ベンゼン、メシチレン、およびスチレンからなる群から選択される有機液と、

からなるオルガノゲル組成物。

【請求項2】

前記アルキル化ベンゾイミダゾロン化合物が、前記有機液中に、0.1～10重量%の量で存在する、請求項1に記載の組成物。